

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「母子保健センター超音波検診機器更新計画」
超音波検診機器供与式典

2019年6月23日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「母子保健センター超音波検診機器更新計画」のための超音波検診機器供与式典が実施されました。

本計画は、1964年の設立以来、経済的に困難な状況にあるヨルダン人貧困層や難民等の妊婦及びその家族を対象に支援を実施してきた実績のあるNGO「ヨルダン家族計画・養護協会」に、同団体が運営するクリニック3箇所(マダバ、アンマン市内のクウェイスメ及びスウェイレ)へ4D超音波検診機器を配備することにより、胎児の障がいの診断を含む高度で正確な妊産婦検診を可能にし、医療サービスの質の向上に寄与することを目的としています。

同式典では、柳大使よりアベッド・マンシィ理事長へ超音波検診機器を供与し、出席者からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

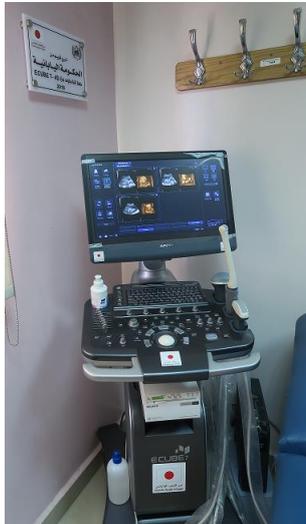
供与式典出席者
(右からマンシィ理事長、柳大使、アニス事務局長)



4D超音波検査機器の供与
(柳大使からマンシィ理事長へ)



供与した4D超音波検査機器



クリニックスタッフと

